

第5次名護市総合計画策定プロジェクト

よって たかって ゆんたく

カフェイベント&第2回地域別ワークショップ開催しました！



さくら祭り会場ビジョン展示

1/26(土) 11:00-17:00 ♡ さくら祭りイベント会場
1/27(日)



久志ゆんたく 2/2(土)

11:00-16:00 カフェイベント ♡ わんさか大浦パーク
17:30-20:00 ワークショップ ♡ 久志支所



羽地ゆんたく 2/3(日)

11:00-16:00 カフェイベント ♡ Aコープ モーレ
17:30-20:00 ワークショップ ♡ 羽地支所



屋部ゆんたく 2/3(土)・2/8(金)

2/3(日) 11:00-16:00 カフェイベント ♡ 宇茂佐公民館
2/8(金) 18:30-21:00 ワークショップ ♡ 宇茂佐公民館



屋我地ゆんたく 2/9(土)

11:00-16:00 カフェイベント ♡ 屋我地支所
17:30-20:00 ワークショップ ♡ 済井出公民館



名護ゆんたく 2/11(月・祝)

11:00-16:00 カフェイベント ♡ ファーマーズマーケットやんばる
17:30-20:00 ワークショップ ♡ 名護市労働福祉センター

名護市をこれからどんなまちにしていきたいか、よってたかって楽しく語り合う第2回「よってたかってゆんたく」を2月に市内の各地域で開催しました。多くの市民の方に参加いただき地域のビジョンを語り合いました。

第2回よってかたってゆんたくについて

第2回よってかたってゆんたくでは、第1回で考えた各地区の取り組みの方向性を多くの方に見ていただき、さらにみなさんの想いを集めていきました。

1日の中で好きな時間にふらっとおこしいただけるカフェイベントを日中に開催し多くの方に地区のこれから10年の取り組みの方向性を見ていただき、各々の地域のこれからのための想いを集め、カフェイベントのあとには、みなさんから集めた想いを各地区のビジョンとしてまとめていくためのワークショップを各地区で開催しました。

カフェイベント

カフェイベントは、より多くの市民の方に総合計画策定の取り組みを発信し、その想いを集めるため、ショッピングセンターやイベントなどの場所に、第1回よってかたってゆんたくの結果導き出された取り組みの方向性のカードを展示し、いいね！と思うものにシールを貼っていただいたり、想いを付せんを書いて貼っていただいたりしました。各地区とも多くの方に見ていただき、たくさんの想いを集めることができました。

さくら祭り会場へブース出展しました

1月26日（土）・27日（日）の2日間開催された名護さくら祭りの会場に、第1回よってかたってゆんたくの様子や、各地区の取り組みの方向性を一部抜粋して展示しました。さくら祭りでは、若者や子育て世代の方、大学生などこれまで参加いただけていない方にもブースを訪れていただき、総合計画策定の取り組みを発信することができました。



第2回地区別ワークショップ

地区別ワークショップでは、取り組みの方向性を実現するアイデアと、それを実現するにはどんな人のつながりが必要になってくるかを話し合い、各地区での取り組みの形が徐々に具体化してきました。

ワークショッププログラム

- 1 開会
- 2 第5次名護市総合計画策定プロジェクトについて
- 3 ワーク1：「地区のビジョンをブラッシュアップしよう」
- 4 ワーク2：「ビジョンを実現する取り組みを考えよう」
- 5 発表
- 6 閉会



ワークショップの流れ



各々が話し合いたい取り組みの方向性のカードを3つ選び、選んだ理由とともに自己紹介しました。

グループで話し合うテーマを3つほどに絞り、テーマに対してアイデアを出していきました。

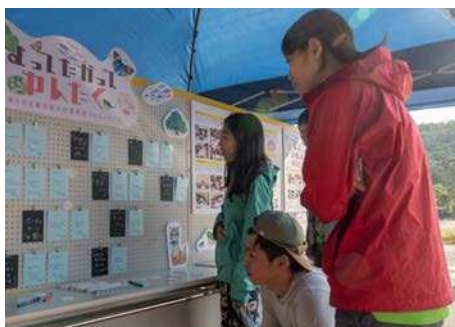
アイデアを実現するために、自分が何ができるか、どんな人のつながりが必要かを出しました。

久志地区 カフェイベント

日時：2月2日（土）11:00-16:00

会場：わんさか大浦パーク

久志地区のカフェイベントは、わんさか大浦パークにブースを設け、取り組みの方向性のカードの展示を行いました。会場ではクラフト作り体験やドローン体験など、いらした方がゆったりとした雰囲気地区のこれからについて考えることができるよう工夫をこらしました。



関心の高かった取り組みの方向性	主なコメント
- 子どもたちが安心して学び、遊べる居場所づくり - 地元の人が豊かな自然を守りながら活かす - 生活支援の充実 - 地域に密着した交流拠点機能の充実 - 空き家の現状を把握し、管理する仕組みづくり - 若い住民が参加する地域づくり	- コミュニティスクールと連携して、学校の放課後を学校の一部分を地域化すると子どもたちがゆったりリラックスできる - やんばるの豊かな自然を守りたい。 - 田舎こそ電波、wifi環境を整えて欲しい。 - 共同売店から学ぶ相互扶助の仕組みを活かしたい。暮らしたい場所で暮らし続けるために。

久志地区 第2回ワークショップ

日時：2月2日（土）17:30-20:00

会場：久志支所ホール

久志地区の第2回ワークショップは、16名の方に参加いただき3つのグループに分かれて地区のこれからについて話し合いました。久志地区では地元の人が豊かな自然を学びながら活かす、生活支援の充実、地域に密着した交流拠点機能の充実などのテーマに対して多くのアイディアが出され、久志への想いにあふれた有意義な話し合いの場になりました。



関心の高かったテーマ	ワークショップで出たアイディア・意見
今あるものを継承していくための工夫	- 地域で仕事をつくる（地元の人が関わるあらたな商品の開発 / 産休育休中のママを呼び込むママ留学や、定年後の方を呼び込む定年留学で人材確保と仕事づくり / 体験農業を組織化して受け入れ農家とつなげる） - 人が住みやすい地域づくり（空き家マッチングの仕組み、窓口づくり / 移動手段の充実、誰もが利用できる通信環境）
わんさか大浦パークのこれから	- わんさかを拠点に一体感や協力体制が生まれるイベント・交流の機会づくり - 共同売店の流通の仕組みの中にわんさか大浦パークを活用 - 地域内外の協力者とのネットワークをつくる
地元の人が豊かな自然を学びながら活かす	- 自然を体験することで、自然の素晴らしさを知って欲しい - 地域を美しく保つための環境整備 - 自然を守りながら活かすためのルール作り
安心安全な生活環境づくり	- 共同売店の機能強化（ネットスーパーを共同売店で購入、宅配を通じたお年寄りの見守り活動、出身者や移住者と地元の人がつながる拠点に） - 地域・学校・企業等の合同での防災活動
子どもたちが安心して学び、遊べる居場所づくり	- 地域住民への学校の開放 - 空き家を利用して子ども、お年寄り、住民の居場所づくり

羽地地区 カフェイベント

日時：2月3日（日）11:00-16:00

会場：A コープモーレ

羽地地区のカフェイベントは、地元の人御用達の A コープモーレの入口横にブースを設け、取り組みの方向性のカードの展示を行いました。

会場では羽地の古写真の展示やコーヒーマーの配付を行い、地区のこれからを考える雰囲気づくりを行いました。



関心の高かった取り組みの方向性	主なコメント
・農業の地域貢献 ・若者の仕事があって、若者が活躍できる地域づくり ・出身者が戻ってきやすい環境づくり ・地域での子育て支援ができる仕組みと体制づくり ・お年寄りも子どもも遊べる場所づくり ・防災に関する情報を住民にわかりやすく伝える	・農業を会社のように ・有機農業にチャレンジ ・高齢者施設の充実

羽地地区 第2回ワークショップ

日時：2月3日（日）17:30-20:00

会場：羽地支所ホール

羽地地区の第2回ワークショップは、8名の方に参加いただき2つのグループに分かれて地区のこれからについて話し合い、子どもの芸能活動を活発にするや、防災について、水を使って遊べる場所づくりなどのテーマについて多くのアイデアが出され、羽地への想いにあふれた有意義な話し合いの場になりました。



関心の高かったテーマ	ワークショップで出たアイデア・意見
地域の防災について	・各字で防災マップを共有し、地域の防災について知る ・地域の人と防災センターの見学・体験に行き、みんなで防災について学ぶ ・自主防災組織をつくる ・常日頃から地域の人への声かけを行い、いざというときに助け合える関係性をつくる
子どもの芸能活動を活発にする	・地域の人みんなで子供が芸能にかかわることを支える ・親子で楽しく地域の芸能やお祭りに参加できる方法を考える ・学校と連携して子どもたちが芸能に関わる機会づくりやサポートを行う
水を使って遊べる場所づくり	・羽地の豊かな水資源を活かして川・水田であそべる環境づくりをする ・危ないから水辺での遊びを禁止するのではなく、楽しく安全な遊び方がわかるように大人が教えサポートする ・貴重な水辺の生き物を観察できる機会づくり（学校との連携等）
地元の人が地元の地域資源を知り羽地の魅力を活かした観光を実施	・羽地の事をみんなで学ぶ（まちあるき・勉強会） ・羽地民泊と連携して地域の資源を活かした観光を実施 ・みんなが知っている地元の資源を共有する（ブランドお茶、川上区のコーヒーマー、伊差川の銅山跡など）
若者の仕事があって若者が活躍できる地域づくり	・羽地に住みたい人が住めるように住宅環境を充実させる（空き家の活用、空き家情報の集約、空き家マッチングの仕組みづくり等） ・羽地で仕事ができる環境づくり（地域での仕事情報の充実）

屋部地区 カフェイベント

日時：2月3日（日）11:00-16:00

会場：宇茂佐公民館

屋部地区のカフェイベントは、宇茂佐公民館にブースを設け、取り組みの方向性のカードの展示を行いました。会場では勝山シークワサーを使ったパンン配付や、焼き芋体験等、地区のこれからを考える雰囲気づくりを行いました。



関心の高かった取り組みの方向性	主なコメント
・民泊等による空き家の活用 ・伝統行事を活かした観光 ・地域野菜のブランド化 ・不審者・犯罪被害から住民を守ろう ・若い世代が地域情報を伝えるために情報を一元化する ・地域が稼げるローカルビジネスの活性化	・住んでいる人は地域にはなにもないと思い込んでいる ・地域にいいものがいっぱいあるから磨きをかけていこう ・フクギ並木を見ながら何かできたらみんな行こうと思うのでは ・地域に誇りを持つことが大事 ・勝山シークワサーもはじめ反対があった

屋部地区 第2回ワークショップ

日時：2月8日（金）18:30-21:00

会場：屋部支所ホール

屋部地区の第2回ワークショップは、11名の方に参加いただき3つのグループに分かれて地区のこれからについて話し合っていました。屋部地区では地域が稼げるローカルビジネスの活性化や、防災について、公民館機能の充実などのテーマに対して、多くのアイディアが出され、屋部への想いにあふれた有意義な話し合いの場になりました。



関心の高かったテーマ	ワークショップで出たアイディア・意見
地域が稼げるローカルビジネスの活性化	・宿泊観光客へ、地元の家庭料理を提供することを地元のビジネスにする。 ・屋部大根の加工品をつくとともに、作り方のストーリーを伝えブランド化する ・屋部寺の整備し、フリーマーケットの開催やグッズの商品化等で屋部寺を拠点に地域にお金を落とす仕組みをつくる
観光のあり方	・ビーチクリーンや植樹を行い、居心地のよい環境をつくる ・豊年祭情報発信 SNS、豊年祭出演者との写真撮影など、豊年祭を観光活用し地域にお金を落とすための仕組みをつくる ・外国人向けの案内説明を充実させる
地域の防災	・地元の産品や地元の企業の協力で Made in 屋部の「地産地消防災バッグ」をつくとともに、部活動の資金造成などの際に防災バッグを販売することで、地元でお金が循環するようにする ・地域の防災マップをつくり、みんなで防災について考える ・自主防災組織を立ち上げる
気軽にゆんたくできる地域にする	・若い人たちが集まりやすい環境づくりをする ・地域のディレクター、ファシリテーターを育成する ・先輩が若手の話を聞き、お互いリスペクトの上で話ができる関係性づくり
子どもの時からまちづくりに関わる地域づくり	・地元野菜を使った子ども料理教室を開催する（地産地消） ・子どもたちが地域でやりたいことを実践できる、子どもの手による子どものための子ども会活動。 ・地域の特産のものを子どもたちが販売してもらう

屋我地地区 カフェイベント

日時：2月9日（土）11:00-16:00

会場：屋我地支所

屋我地地区のカフェイベントは、屋我地支所で行われていたやがじ展の一角にブースを設け、取り組みの方向性のカードの展示を行いました。やがじ展のとても賑やかな会場の雰囲気の中、多くの人が屋我地地区のこれからについて考えました。



関心の高かった取り組みの方向性	主なコメント
・屋我地中学校跡地を活用したスポーツ拠点 ・空き家を子育て専用住宅など住居としての再活用 ・空き家を幼児・児童・生徒の遊び場としての活用する ・屋我地ひるぎ学園に島の子を増やす ・海を活用する ・一人暮らしのお年寄りをみんなで見守る取組	・誰でも利用できる工房、陶芸窯などアート拠点 ・子育て世代が利用できる住宅（空き家活用・新築） ・光回線は若者やお仕事には必須 ・アジサシの保全と観光活用 ・農業の後継者が不足しているが一番大事 ・中高生の島外への移動手段（安く）

屋我地地区 第2回ワークショップ

日時：2月9日（土）17:30-20:00

会場：済井出公民館

屋我地地区の第2回ワークショップは、7名の方に参加いただき2つのグループに分かれて地区のこれからについて話し合いました。屋我地地区では屋我地ひるぎ学園との連携や、島の環境保護活動、インフラについてなどのテーマに対して多くのアイデアが出され、屋我地への想いにあふれた有意義な話し合いの場になりました。



関心の高かったテーマ	ワークショップで出たアイデア・意見
環境教育の充実により市民の関心を高める	・環境対策の1つとして地域猫（さくら猫）に取り組んで欲しい ・入島税を取る、島内移動は自転車にかぎるなど、環境保護につながる取り組み ・海の清掃活動、道路の清掃活動が地域の住民だけでは難しく、様々な人が参加する仕組みをつくる ・鳥獣保護区を積極的に活用し、野鳥観察の基盤整備をする
インフラの整備	・子育て特区で、子育て世代や屋我地出身者が住むことができる住宅の整備 ・コミュニティ交通の導入や、バス会社と連携し、高校生やお年寄り等の交通弱者の移動手段を確保 ・屋我地中学校跡地を活用した複合施設拠点（スポーツ、博物館、工場） ・街灯やインターネット環境などの生活環境の整備
独り暮らしのお年寄りをみんなで見守る取り組み	・地域住民で情報を共有し一人ぐらしの負担を減らす ・家族・血縁以外新しいコミュニティづくり（女性のシェアハウスなど） ・企業・商店と協働した見守り活動（新聞配達・弁当配達などと連携した見守り）
農業と観光が結びついた産業	・マングローブ（ひるぎだまし）で育てた山羊をブランド化 ・さとうきびを活用してラム酒（ヤガラム）製作
屋我地ひるぎ学園との連携	・教育特区で屋我地ルールを制定し屋我地独自の環境を保護・活用する仕組みをつくる ・移住者の子どもたちが学校以外で島の大人達と交流できる仕組みをつくる

名護地区 カフェイベント

日時：2月11日（月・祝）11:00-16:00

会場：ファーマーズマーケットやんばる

名護地区のカフェイベントは、ファーマーズマーケットやんばるの入口横にブースを設け取り組みの方向性のカードの展示を行いました。会場では名護の古写真の展示やFM やんばるのブースを設け、地区のこれからを考える雰囲気づくりを行いました。



関心の高かった取り組みの方向性	主なコメント
・免許返納後も移動しやすい環境の整備 ・賑わいのある商店街の再生 ・子育て中の女性が働きやすく、輝ける職場環境づくり ・高齢者が楽しめる場づくり ・雨の日でも楽しめる場所づくり ・観光客が何度も来たくするようなまちにする	・以前、漁港で開催されていた、イカ汁、天ぷらがたべられるイベントを再開して欲しい ・屋根があり子どもたちが走り回れるくらいの広さがあり、遊具で遊べ雨の日でも行ける場所が欲しい ・地域主導（主体）でイベントを行う事が重要 ・高齢者が乗れる周遊バス

名護地区 第2回ワークショップ

日時：2月11日（月・祝）17:30-20:00

会場：名護市労働福祉センター

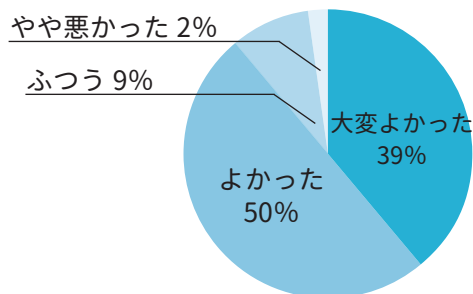
名護地区の第2回ワークショップは、14名の方に参加いただき4つのグループに分かれて地区のこれからについて話し合っていました。名護地区は賑わいのある商店街の再生や、名桜大学との連携、海岸の活用についてなどのテーマに対して、多くのアイデアが出され、名護への想いにあふれた有意義な話し合いの場になりました。



関心の高かったテーマ	ワークショップで出たアイデア・意見
賑わいのある商店街の再生	・空き店舗と「使いたい人」をつなぐ仕組みづくり ・昔ながらの市場の良さや人と人とのふれあいをPRする ・ゆっくりコーヒーを飲めるようなお店が街中にあるといい ・名護の街中で各地区の魅力を発信する
地域にあるものを活かしたイベント・観光	・「がじゅまるがみてきた歴史」というタイトルで名護の歴史をたどるツアーを行う ・観光客や外国人が行きやすい豊年祭 ・地元の人とつながれる仕組みや場所づくり ・地元の食材を活かした食のイベントづくり
自然海岸の大切さを学び安全に活用する	・海をもっと知るイベント（行く機会を増やす、きれいさを知る、海を楽しむ） ・ビーチクリーン、ワンハンドビーチクリーンの推進（イベント化、企業で参加、キャンペーン）
空き家を活用した新たなチャレンジの場づくり	・カフェスペース・コワーキングスペースとしての空き家活用 ・跡継ぎマッチング事業、起業支援セミナー、制度、特典 ・人と場所のマッチングの手助け
名桜大学との連携	・大学や企業と連携して医療・保健関連事業を創出する ・世界のウチナアンチュとWeb会議を行い、共同プロジェクトを行う（ウチナアンチュの信用を活かした特産品の売買など） ・市と名桜大学が連携して、世界のウチナアンチュと交流事業を行う
理想の交通環境	・買物難民のためにコミュニティバスを運行する ・環境に優しい交通環境を整える

ふりかえりアンケート

Q よってたかってゆんたくの感想を教えてください



Q 取り組みたいことやつながりであらためて気づいたことや発見したこと

- ・実現したい地域に向かって自分が動かなければならないこと
- ・生み出すには女性、若者、この場にこれていない人など多様な人材のコラボが必要
- ・カフェイベントでいろいろな課題や問題点が表記されていたので討論がしやすかった

Q よってたかってゆんたくで一番印象に残っていること

- ・素晴らしいアイデアが生まれたこと
- ・みなさんの思う地域の話が楽しく聞けて良かった
- ・実現に向けたゆんたくができたのでカタチにしていけると思う
- ・具体的になったことで、しばむ気持ちも半々
- ・つながり、交流の大切さを感じることができた

Q 第5次名護市総合計画策定プロジェクトについて期待することや気になること

- ・名護が人であふれるいきいきしたまちづくりをしていけたら良いと思う
- ・より多くの方々に参加してもらいたい
- ・地元企業の利活用も視野に入れた総合計画策定を期待
- ・未来にすごいと言われる総合計画にしたい

今後のスケジュール



よってたかってゆんたく

これからの名護市のまちづくりを話し合おう



2019 4/23 (火) 18:30-21:00 名護市民会館中ホール

各地区で話し合ってきた「地域の未来」について発表と、山崎亮による講演「わたしたちの未来と計画づくり」を実施します



studio-L

studio-L (スタジオエル) は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、海士町総合復興計画、瀬戸内しまのわなど、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。<http://www.studio-l.org>

問い合わせ

名護市地域政策部企画情報課企画調整係 担当: 比嘉
e-mail: kikakujouhou@city.nago.lg.jp

今後の予定や最新情報は「よってたかってゆんたくFacebookページ」にて発信しています。Facebookで「よってたかってゆんたく」で検索!
URL: <https://goo.gl/8bnWRd>